

2025
12

消費者の部屋通信

事例

「だいこん」について



和の空間へようこそ～茶・畳・生糸・生薬・盆栽の世界～

日本の基準、確かな品質。JASマーク

動物用医薬品のひみつ

11月29日はノウフクの日～「農業」と「福祉」がつながって日本を元気に！～

展示

農林水産省

11月の「消費者の部屋」の展示を紹介します

11月4日～11月7日 和の空間へようこそ～茶・畳・生糸・生薬・盆栽の世界～

日本の伝統的な工芸作物である、茶、いぐさ、繭、生糸、薬用作物や、和を象徴する盆栽等の理解を深めていただくため、品目ごとの原料作物や製品、パネル等を用いて、製品になる流れ等を紹介。



(入場者数:665人)

11月10日～11月14日 日本の基準、確かな品質。JASマーク

JAS制度が誕生して今年で75年。消費者の皆さんにもっとJASを知っていただき、JASマークを買い物の目印にしていただけるよう、実物の陳列等により分かりやすく解説。



(入場者数:493人)

11月17日～11月21日 動物用医薬品のひみつ

11月の薬剤耐性(AMR)対策推進月間に合わせて、薬剤耐性や、動物用医薬品の審査を行っている動物医薬品検査所、動物用医薬品にまつわる情報を紹介。



(入場者数:1,128人)

11月25日～11月28日 11月29日はノウフクの日

～「農業」と「福祉」がつながって日本を元気に！～

障害を持つ方などが農業分野で活躍することを通じて、社会参画を実現していく取組である「農福連携」について、11月29日「ノウフクの日」に合わせ、様々な取組をパネルや動画などで紹介。



(入場者数:444人)

今後の展示スケジュール

期間	展示名	展示内容
1月13日 ～ 1月16日		食生活や農林水産業に関する注目情報等をピックアップしてお届けします。
1月19日 ～ 1月23日	(仮題)甘くて美味しいエネルギー ～私たちの生活を支える砂糖の世界～	砂糖は、私たちの毎日の食生活に欠かせない食品であり、日本の食料自給率を支える大切な役割も果たしています。また、砂糖と一口に言っても、形や色、風味はさまざまです。展示では、バラエティ豊富な砂糖とその特性をご紹介するとともに、砂糖が安定して供給される仕組みや、砂糖の原料であるさとうきびやてん菜について、実物やパネルで紹介します。
1月26日 ～ 1月30日	おいしいだけじゃないよ！ チョコレート・ココア	チョコレートやココアに含まれている成分は動脈硬化の予防等体によいとされています。今回は、原材料や製品の展示を行うとともに、パネル等を用いてチョコレートやココアの持つ効果効能、栄養、チョコレートを取り巻く課題についてわかりやすく紹介します。
2月2日 ～ 2月6日	知って！楽しむ！ジビエ ～鹿皮紙(しかひし)の出張ショールーム～	農林水産省は、鳥獣被害対策のため捕獲された野生鳥獣を地域資源として余すところなく活用する取組を推進しています。鳥獣被害の現状や対策、各地のジビエ料理店等が参加する「全国ジビエフェア」の紹介のほか、シカ等の皮、骨、角等を加工して作られたファッション・インテリア関係の製品を、ショールームをイメージした展示を通してご紹介します。シカ皮を使った楽器(三味線、太鼓)の体験コーナーの設置や、シカ皮の羊皮紙「鹿皮紙(しかひし)」を使った事前予約制のワークショップも開催予定です。 ※併せて北別館玄関でジビエ関連商品の販売を行う予定です。
2月9日 ～ 2月13日		未定
2月16日 ～ 2月20日	食べる鯨をもっと身近に、 簡単に！	家でもできる簡単鯨料理レシピや、鯨料理を食べられるお店・買えるお店の情報、鯨汁や竜田揚げのような昔ながらの料理から、中華・洋食に挑戦した新しい鯨料理を紹介するほか、捕鯨業や科学調査についても紹介します。また、鯨の鬚板や歯を使った工芸品の展示も行います。また、お昼時にはケータリングの提供も行う予定です。
2月24日 ～ 2月27日	皆でつなぐ農業遺産の未来 ～企業との協働で広がる農業遺産の魅力と価値～	農業遺産地域では独自の伝統的な農林水産業が営まれ、SDGsにも貢献する持続的な取組が行われています。一方で、同地域では人口減少や高齢化等による人手不足、経済活動や地域の活力の減退などの課題も抱えています。将来にわたって農業遺産を保全・継承していくためには、地域住民だけでなく、民間企業など、地域内外の多様な主体との協働によって関係人口を増やし、農業遺産としての価値を高めていくことが重要です。今回は「農業遺産地域と企業・団体との関わり」をテーマに、農業遺産地域と企業などの多様な主体が連携して生まれている活動を紹介し、より多くの主体者に農業遺産地域の魅力を知っていただく展示を行います。
3月2日 ～ 3月6日	(仮題)土地改良の歴史 から学ぶ「昭和100年」	昭和24年に制定された「土地改良法」に基づく農業生産基盤整備の歴史について、昭和期を代表する事業などを紹介し、昭和100年の節目となる令和8年に改めてその歴史を振り返ります。
3月9日 ～ 3月13日	東北3県の現在(いま)と、 私たちが創る未来 ～東日本大震災から15年を経て～	東日本大震災から15年が経ちます。東北3県で震災を乗り越え活躍する生産者の取組や観光・產品の魅力、食品の安全性を確保するために実施されている取組等について、パネル展示や動画の放映などで紹介します。福島県内の高校生や福島県の生産者によるミニ講座も行います。東北3県の名産品の販売等も行う予定です。
3月16日 ～ 3月19日	(仮題)GREEN × EXPO 2027まであと1年！	GREEN × EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会)は令和8年3月19日で開催1年前を迎えます！開催に向けて、カウントダウンが始まります。テーマ「幸せを創る明日の風景」に向けて、さらに応援の輪を広げていきましょう！
3月23日 ～ 3月27日	食生活や農林水産業に 関する取組情報をお届け します！	食料の持続的な供給を確保するためには、消費者、国民の皆さまが、生産などの実態を理解し、日々の購買行動によって、支えていただくことが重要です。このため、農林水産省では、食育の推進、食文化の保護・継承等を通じて、食料・農業・農村に関する国民の理解を深めるだけでなく、食料の持続的な供給に寄与する「行動変容」につなげるよう、様々な施策間の連携を図りながら、効果的な消費者施策を推進しています。今回は、取組情報の一部をお届けします。

展示内容等は変更することがございますので、最新情報は消費者の部屋展示ホームページをご確認ください。

「消費者の部屋」では、過去の展示の様子や今後の展示予定などをホームページで公開しています。



展示HP



消費者の部屋とは？

農林水産省北別館の1階にて、農林水産行政に関する展示を行っています。

「霞ヶ関」駅 A5出口すぐの北別館入口から入館していただくと便利です。
問合せ先:03-3591-6529 (平日10:00～17:00)

11月の消費者相談状況を紹介します

米の価格 に関する問合せが最多

- ・高くなっている理由
- ・価格が高くて困っている

Topic 米の虫 について

- ・虫がわいてしまったがどうすればよいか
- ・未開封の米に虫がわいた

► 相談者の内訳

項目	件数	比率
一般消費者・消費者団体	114件	69%
事業者	11件	7%
中学生以下(こども相談)	9件	5%
相談業務関係者	7件	4%
農林水産業従事者	4件	2%
マスコミ関係者	2件	1%
高校生・大学その他の学生	1件	1%
その他	18件	11%

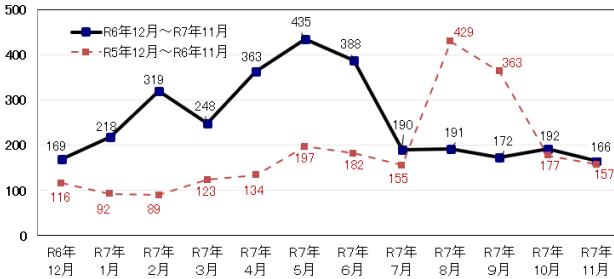
► 相談区分の内訳

項目	件数	比率
物価・販売・サービス、生産・流通等	54件	33%
品質・規格・基準、機能・効能、商品知識	15件	9%
食品の安全・衛生	14件	8%
法令・制度	10件	6%
食品表示	7件	4%
農林水産省が行う事業	4件	2%
統計	4件	2%
その他(こども相談含)	58件	35%

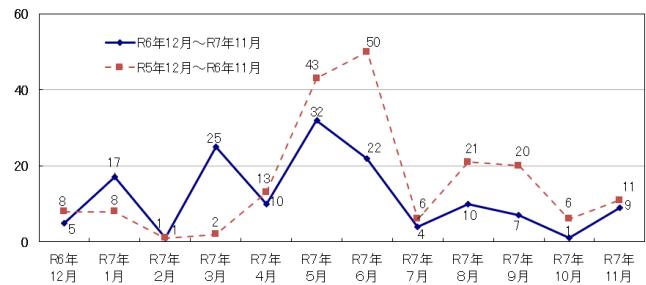
※ 件数は、関連する相談区分をまとめて集計

11月の消費者相談件数は 166件、こども相談件数は 9件 でした。

► 消費者相談件数(月別)



► こども相談件数(月別)



問合せ先

消費者相談:03-3591-6529 (平日10:00~17:00)
こども相談:03-5512-1115 (平日10:00~17:00)



11月に寄せられた消費者相談の事例を紹介します



「だいこん」をおいしく食べるためには、どの部位をどんな調理法で食べたらよいか教えてください。

回答



葉に近い首の部分

甘みが強く、ややかため
おろしやサラダなどの生食に

※辛み成分は、
心部より外側、
葉に近い首の部分より
先端付近に多い

※秋から冬は
甘みが増してくる

中央部分

太さもそろっていて甘みがあり、やわらかい
おでんやふろふきなどの煮物に

先端付近

辛みが強くて繊維も多く、かたい
漬物やみそ汁の具、辛さを活かして薬味的に



干すと増す うまみと栄養価 ～干し野菜は家庭でも簡単に作れます～

干すと水分が抜け、うまみが凝縮されます。

また、生のものよりも切り干しだいこんの方が、カリウム、カルシウム、食物繊維、鉄分などの栄養価も増します。

カラカラに乾燥させなくとも、少し水分をとばすだけでも効果があります。



-MEMO- 「だいこん」の鮮度を保つために！

・葉付きのだいこんを買ったら

→ 葉から水分がどんどん蒸発するので、葉を切り落とし葉と根の部分に分ける

・カットしたものは

→ ラップで包み、冷蔵庫で保存

・根の部分が丸ごと一本のものは

→ 新聞紙に包み、冷暗所で保存

参考

・『新・野菜の便利帳 おいしい編』(株式会社 高橋書店、2019)

・『からだにおいしい 野菜の便利帳』(株式会社 高橋書店、2008)

・『地域食材大百科 第2巻 野菜』(社団法人 農山漁村文化協会、2010)

11月の学校訪問状況を紹介します

学校訪問とは？

小・中・高校の修学旅行や校外学習のグループ活動をされる生徒さんを対象に農林水産省への訪問を受け付けています。

展示見学・農林水産省の業務説明・省内見学を行います。



11月5日
山形県大蔵村立
大蔵中学校(4名)



11月6日
岡山県立
津山中学校(5名)



11月12日
埼玉県新座市立
栄小学校(2名)



11月13日
山形県新庄市立
八向中学校(4名)



11月19日
静岡県菊川市立
堀之内小学校(17名)



11月20日
東京都サレジアン国際学園
世田谷中学高等学校(6名)



11月21日
埼玉県川口市立高等学校
附属中学校(11名)

生徒さんから寄せられた感想(抜粋)

農林水産省がどのように私たちの生活に関わっているか、また、それがどれだけ私たちの食の安全を守っているかを知ることができました。

国を動かす組織ということで、大変緊張していましたが、職員の方々が優しく接してくれて本当に楽しい時間になりました。
また行きたいです。

身近なものにも「JASマーク」が使われていることに驚きました。
これから探してみようと思います。
(※)

農林水産省には、
たくさんの木が
使われていて、
とても癒されました。

たくさんの人が働いて
いるにもかかわらず、
とても静かなことに
驚きました。

地方における「消費者の部屋」を紹介します =東北農政局=



「消費者の部屋」の展示では、

常設展示「食料をめぐる問題の解決に向けて～私たちにできること～」のほか、月ごとにテーマを決め、食品の安全をはじめ、農林水産行政に関する情報について紹介をしています。

月ごとのテーマについては、
ホームページで公開しています。



詳細はこちら →

消費者の部屋「期間展示」

仙台合同庁舎B棟1階ロビーに設けられた
行政情報プラザ内に常設しています。

▶ 今年度の期間展示では食中毒、食育、米粉、牛乳月間、統計調査、和食、フラワーバレンタイン、家庭備蓄といった 農林水産行政に関する12のテーマについて紹介。

▶ ポスターに加えて、
ショーケースを活用した 実物展示 や
デジタルサイネージによる動画上映 を実施。



期間展示(食育)の様子



東北農政局キャラクター
「ころころまる」
心優しいおにぎりの妖精
東北のおいしい食べ物に
興味津々



お話し会の様子



ころころると
さがす
ちきゅういいこと
(リーフレット)

東北農政局「消費者の部屋」は、
JR 仙台駅から北西へ徒歩15分、仙台市地下鉄南北線 勾当台公園駅から徒歩5分、
仙台合同庁舎B棟1階ロビーに、展示コーナーを開設しています。

問合せ先

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1

東北農政局 消費・安全部 消費生活課 Tel:022-221-6093 (直通)

12月の地方における「消費者の部屋」の展示予定をお知らせします

各地方農政局等	展示期間	展示テーマ
北海道農政事務所 (北海道札幌市)	11月4日(火)～12月26日(金)	和食・食文化
東北農政局 (宮城県仙台市)	12月1日(月)～12月26日(金)	「ご存じですか？東北が誇る本物の和牛の美味しさ！」～東北6県のとっておきをご紹介します～
関東農政局 (埼玉県さいたま市)	12月1日(月)～12月25日(木)	世界かんがい施設遺産～かんがいの歴史や先人たちの技術にふれる～
	11月4日(火)～12月24日(水)	野菜を食べよう！「みえるらべる制度」の紹介
北陸農政局 (石川県金沢市)	12月1日(月)～12月25日(木)	知って防ごう 野生鳥獣被害
東海農政局 (愛知県名古屋市)	11月21日(金)～12月9日(火)	花を飾ってリラックスしませんか？
	12月12日(金)～12月25日(木)	新しい食のかたち「米粉」の魅力
近畿農政局 (京都府京都市)	12月1日(月)～12月25日(木)	みんなで食育を推進しよう！
中国四国農政局 (岡山県岡山市)	12月1日(月)～12月12日(金)	知ってる？農福連携！築こうWIN-WINのつながり！～広げよう！農業と福祉の輪～
	12月15日(月)～1月9日(金)	も～っと、知ってほしい！お米・米粉の魅力！
九州農政局 (熊本県熊本市)	11月25日(火)～12月5日(金)	12月8日は有機農業の日
	12月8日(月)～12月19日(金)	あか牛の改良と飼料作物種子の増殖
	12月22日(月)～1月9日(金)	「おいしい食べきり」全国共同キャンペーン
沖縄総合事務局 (沖縄県那覇市)	12月1日(月)～12月5日(金)	沖縄における農業農村整備事業及び農山漁村活性化対策の取組
	12月8日(月)～12月19日(金)	年末年始の移動の際には、植物や肉製品等の持出・持込に気をつけましょう。

展示テーマは変更することがございますので
最新情報は各地方農政局等ホームページをご確認ください。

編集・発行(12月19日)
農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課「消費者の部屋」